

JR金沢駅を利用する観光客に話題のスポットがある。金沢百番街内の酒販店「金沢地酒蔵」にある全国でも珍しい地酒の自動販売機だ。1杯100円で手軽に利き酒が楽しめるとあって人気を集めるが、購入者の中には会社帰りの地元サラリーマンの姿も。5杯飲んでも500円。駅での立ち飲みは、交通手段も財布も安心？

◆ ◆
金沢地酒蔵は、金沢と津幡の酒造会社5社でつくる金沢清酒宣伝販売協同組合が運営している。地酒の自動販売機は1999年、5社の代表商品を気軽に飲み比べしてもらおうと設置された。100円を投入し、紙コップを置いて、ポ

1杯100円で 地酒の「晩酌」

駅の自販機 手軽に立ち飲み



タンを押すと常温で50℃の地酒が注がれる。商品は「しほりたて」や「冷やあろし」など季節ごとに入れ替えている。300円のボタンもあり、こちら

は大吟醸クラスがそろっている。売れ行きは平日で30〜40杯、連休や週末などは多い時で100杯を超える人気ぶり。観光客からは「こんな自

販機初めて」と驚きの声が聞かれ、土産の地酒を選ぶ際に活用されているという。観光客だけでなく、地元客の利用も意外と多い。

「家で飲ませてもらえない男性も、ここなら100円で自由に飲める。ちょっと一杯という男性は多いんですよ」と店員さん。商品の入れ替えのたびに訪れるファンもいるという。駅の立ち飲みスペースは「酒どころ石川」の熱気を伝えている。(森田奈々)

地酒の自販機を利用する観光客
JR金沢駅構内の「金沢地酒蔵」

